

ウクライナ支援

# カテリーナ コンサート

チェルノバイリ絵画展

チェルノバイリ救援・中部 講演会/チェルノバイリ子ども基金 活動報告



## 6月17日(土)

会場：名古屋国際センター  
別棟ホール

(会場エントランスでチェルノバイリ絵画展)

13:30 開場

14:00 講演 チェルノバイリ救援・中部 河田昌東  
「ウクライナと原発危機」

14:30 活動報告 チェルノバイリ子ども基金  
佐々木真理

———休憩(10分)———

15:00 カテリーナ・コンサート

16:00 終了予定

入場料金 一般1500円  
高校生以下1000円

チケット問い合わせ  
TEL 090-4084-5468(杉浦)  
TEL 090-4797-4185(川村)

コンサートの収益は  
ウクライナ市民への支援にあてます  
賛同金も広く募ります  
1口1,000円  
郵便振替口座/00860-0-217388  
「非核平和」写真・絵画展事務局



主催：カテリーナ・コンサート実行委員会  
非核・平和を求める写真・絵画展事務局  
TEL 090-4084-5468(杉浦)  
後援：チェルノバイリ救援・中部  
チェルノバイリ子ども基金

## カテリーナ

ウクライナの伝統楽器バンドウーラ奏者・歌手。ウクライナ・プリピャチ生まれ。

6歳の時にチェルノブイリ原発事故で被災した子どもたちで構成された音楽団「チェルボナカリーナ」に入団後、海外公演に多数参加。コンサートで来日したときに日本の素晴らしさに感動し、19歳の時に音楽活動の拠点を東京に移す。現在、日本に数少ないウクライナのバンドウーラ奏者の1人として、ウクライナ民謡や日本歌曲を演奏しテレビ、新聞、ラジオなど数多くのメディアに取り上げられています。昨年からウクライナのために全国各地を周りチャリティーコンサート、支援活動中。年間の出演コンサート数は300本を超えます。祖国のウクライナと日本の架け橋となり、平和の調べを届け続けています。

## チェルノブイリ救援・中部

チェルノブイリ原発事故は1986年4月26日に起こり、広島型原爆500発分に相当するセシウム137などの放射能をばらまき、今もなお汚染地域の人々の生活に大きな影を落としています。ウクライナのチェルノブイリ原発事故被災者への支援を通じ、現地の自立を目指すNPO法人として活動。2011年からは福島原発事故の被災地支援も行っています。「チェルノブイリ原子力発電所事故および福島第一原子力発電所事故の被災者を救援する事業を行い、国際協力と人権の擁護に寄与すること」を目的としています。(ホームページより)

## 河田昌東（かわたまさはる）

1940年秋田県生まれ。2004年名古屋大学理学部定年退職。現在、NPO法人チェルノブイリ救援・中部理事。遺伝子組換え食品を考える中部の会代表。専門は分子生物学、環境科学。

## チェルノブイリ子ども基金

チェルノブイリ事故の被災者救援のために1991年に設立。以来、医療機器、医薬品、教材、放射能測定器などの救援物資を贈っています。1996年からは、毎年ベラルーシとウクライナのチェルノブイリ被災地の子どもたちのための保養プロジェクトを行っています。また、甲状腺がん手術後の困窮家庭の子どもを支援する里親制度は、毎月50ドルを一定期間、一人の里親が支援する仕組み。現在は甲状腺がん以外の病気の子どもの対象になっています。

## 佐々木真理（ささきまり）

「チェルノブイリ子ども基金」事務局長。会社員であった1998年より「チェルノブイリ子ども基金」のボランティアとして、ウクライナとベラルーシの保養施設で甲状腺手術後の子どもたちに日本文化教室（少林寺拳法、書道など）を開催。その後ボランティアとして毎年現地の保養施設や病気の子どものいる家族を訪問。2005年より「チェルノブイリ子ども基金」スタッフ、2008年より事務局長。2016年、ウクライナに多大な貢献を果たした女性として同国政府より「公妃オリガ勲章」受章。

## 非核・平和を求める写真・絵画展事務局

非核・平和の未来社会の創造を願い、アフガニスタン、イラク、チェルノブイリ・福島関連の写真・絵画の展示用パネルの貸し出しや写真展・絵画展の企画、展示を行うことを目的としています。